

木葉小便り

令和5年12月21日(木)発行
文責 校長 吉野 新吾

日の出(12/2)

子供たちに経験させること

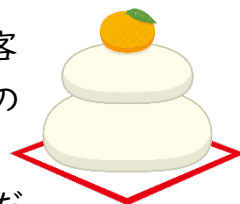
12月8日(金)子供たちを“お客さん”にしない学校行事(主体性の育成)として餅つきを行いました。

しかし、保護者の力添えをいただかなければ、学校職員のみではできない行事だと認識しています。

子供たちのたくさんの笑顔がありました。6月

の田植えから稲刈り、そして餅つきをとおして、小学校生活での思い出が増えた行事となりました。

天気にも恵まれました



「少年は手を離せ 目は離すな、青年は目を離せ 心は離すな」

12月14日(木)玉名教育事務所 岩田 博史 社会教育主事を講師に招き、PTA 主催イベント「この指と～まれ♪」を行いました。

笑いある和らいだ雰囲気の中、P(保護者)T(教師)そして学校評議員がグループになり、それぞれの思いを交流する素晴らしい時間となりました。

「大人が何もしなかったら、子供はやりたい放題」「親の都合になったらいけません」の言葉が印象的でした。

盛り上がった会場

お世話になりました。来年もよろしくお願ひします。

コロナ明けの令和5年、昨年以上にあっという間の9ヶ月でした。「学校とは、子供が賢くなり、自信のつくところでなければならぬ」という想いの中で学校経営を進めてきました。

木葉小学校は、子供を賢くすることができたでしょうか？

子供に自信をつけることができたでしょうか？

子供たちのがんばり、保護者や地域の方々の支え、職員のがんばりの中、冬休みを迎えることができることに感謝します。本当にお世話になりました。

